

埼玉県山岳連盟 埼玉岳連報 51 号

発行者 石倉 昭一

発行所 連盟事務所 天野 賢一方

〒333-0823 川口市石神 179-40

編集人 岩井田正昭

発行数 1600 部

埼玉岳連

創立 60 周年記念式典開催：平成 27 年 11 月 28 日（土）



評議員総会 あいさつ

埼玉県山岳連盟会長 石倉昭一

この1年間、県岳連の主事業は順調に行うことが出来ました、日山協主催の「第5回全国高校生選抜クライミング選手権」、2月の深谷での「ボルダリングジャパンカップ」、県岳連主管で成功裏に終えることが出来ました。昨年、11月に日山協の大きな事業UAAA（アジア山岳連盟）20周年記念式典が広島で開催され、埼玉県岳連から10名の参加あり大盛況で終えることが出来ました。有難うございました。

これから1年、60周年記念事業として昨年8月からスタートし、そのうち60周年記念登山が4月から行われます。

11月には60周年記念式典が浦和で行われるように進めています。「記念講演」「記念式典」「祝賀会」、「記念60登山」に1人でも多くの方の参加を期待しています。

みなさんで60周年事業を祝いたいと思います。

また、8年に1回の「関東ブロック大会」を加須で開催、埼玉県岳連で幹事岳連、主管し担当となります。

12月には日本山岳協会主催の「第6回全国高校生選抜クライミング選手権大会」、来年1月末には「ボルダリングジャパンカップ」が加須で決定されています。

来年2月には「関東地区山岳連盟」の総会が埼玉県開催となります。

等々盛り沢山の1年になります。

是非、今まで以上のご協力をお願い致します。

岳連報 51 号 目次

- 1 p : 評議員総会 あいさつ
 2 p : 27 年度評議員総会報告
 3 p : 同 上
 4 p : 27 年 4 月(第 1 回)理事会報告
 5 p : 27 年 3 月理事会報告, 埼玉 CM 報告
 6 p : 関東地区岳連報告
 7 p : 緊急ヒバーク・耐寒訓練報告
 8 p : BJC 深谷 2015、日本山岳遺産サミット報告
 9 p : 海外登山委員会、体育賞授賞式報告
 10 p : 県内選手リザルト・アルパイン入門道場オープン
 11 p : 事務局便り、講演会案内
 12 p : 編集後書
 13~14p 広 告
 ピラミッドジャパン(株)・日本用品(株)・田中産業(株)

平成 27 年度評議員総会報告 (敬称略)

期 日:2015 年 4 月 12 日(日)

場 所:北本市中央公民館 14 時 30 分~



評議員総会 開催 敬称略

左から 森下前会長、田中名誉会長、石倉会長、熊谷議長、村岡副会長、加藤事務局長(副会長)、相澤副会長、天野理事長、佐藤監事

開会挨拶: 相澤副会長

挨拶: 石倉会長

議長選出

今回は、事務局長推で蓮田山岳会: 熊谷潔会長に
 お願いします。 拍手で 承認。

議事録署名人は、川越山の会・五十雀の岩井田正昭
 評議員にお願いします。 拍手で 承認。

総会成立宣言

出席 22 名、代理 7 名、委任 8 名計 37 名の出席で
 定足数 56 の 1/2 以上となり、成立を 宣言します。
 加藤事務局長。

議 事 (議長: 蓮田山岳会会長: 熊谷 潔)

第 1 号議案

平成 26 年度事業報告。

各委員会の委員長が説明。主な事業としては、県知
 事表敬訪問、2015 埼玉岳連カレンダーの発行、指導員・
 上級指導員の養成講習会の開催全員合格、第 5 回全

国高等学校選抜クライミング選手権大会開催・男女 個人
 優勝・男子団体優勝、長崎国体天皇杯 7 位、第 10 回
 ボルダリングジャパンカップの開催、岳人の家閉所、広報誌
 3 回発行・50 号記念発行、関ヶ原栃木大会の視察、役
 員研修会の開催、埼玉ウルトラトレイル検討会等

・質 疑:トレイルランについて

Q・登山家の最低限の精神として、自分で判断して
 安全に山に登る、地図やコンパスを見ながら登ること。

トレイルランの趣旨は時間だけを競って登るものなの
 か? 競技か個人なのかかわからないが、山の中で小さ
 なザックで登山道を走っていく姿を見ると、山岳連盟
 としてそれを登山として認めて良いのか? 一般登
 山者への危険、自然保護等それらをふまえて検討し
 ていただきたい。

A・いきなり埼玉岳連が開催していくということでは
 ない。山の中の出来事は埼玉岳連に関係・責任があ
 るので、見放しておかず係わっていき、全体的に見て
 いくことが大事。どんな 関与ができるかを検討中。

・質 疑:カレンダーについて

Q・売却以外の処理方法について

A・各会及び、提供者に配布、高校生大会で参加記念
 品として配布、その他県内外で山の関係者等に配布
 しました。

・意 見: 遭難事故について

Q・遭難に関する規約見直しを要望します。

A・遭難対策委員会を中心に作業を始めました。
 今後、提示していきたいと思います。

第 2 号議案

平成 26 年度会計報告。一般会計と強化関係、特別会
 計について報告。後、監査報告。

・26 年度もカレンダーの制作販売、大口の寄付金等で収
 入が増加。各委員会の努力で支出の減もあり、残高が
 増加した。皆様のご協力と関係者の努力によると
 ころ大。ありがとうございました。

・意 見:

Q・特別会計、繰越金について

A・予備費他、特別会計に繰り込む方向。

・質 疑:繰越金について

Q・昨年と比較すると繰越金額が減少している

A・関東ブロック大会関係の諸経費出費が有ったため。

・質 疑:主管費について

Q・高校生大会、ジャパンカップの主管費について

A・今年はスポンサーからの補助金だけでなく、高体連の
 選手登録費が大会費用となり処理できた。

・第 1 号議案、第 2 号議案、一括して承認。

第 3 号議案

平成 27 年度事業計画。各委員長が概要説明。承認。
 主な事業としては、県岳連創立 60 周年記念事業・式
 典等(11/28)、関東地区山岳連盟総会の開催(12/6-7)、
 70 国体関東ブロック大会の主管(7/25-26)、第 6 回全国

高等学校選抜クライミング選手権大会の開催(12/23-24)、第 11 回ボルダリングジャパンカップの開催(1/30-31 加須)海外登山講演会の開催(6 月頃)、選手強化委員会の関ブロ、国体での活躍、広報誌 3 回の発行、カレンダーの作成、28 年ワールドカップ大会開催の体勢づくり、トレイルランの検討等が提案される。

第 4 号議案

27 年度予算案。加藤事務局長より説明。承認。
・各事業等は、昨年と同程度の予算を組み、予備費を増額し①「創立 60 周年記念事業費」②「関東ブロック大会費」にあてる事とする。その後は、予備費の一部を「特別会計」に入れる方向で検討していく。

第 5 号議案

県岳連創立 60 周年記念事業について、各担当者より説明。承認。
・記念式典・祝賀会について 11/28 浦和ワシントンホテル 田部井淳子講演会、記念式典、祝賀会を開催
・記念誌について
「クラブデータ」、10 年間の県岳連の活動記録等を纏めて、DVD に収録配布。HP 掲載。
・記念山行について
創立 60 周年記念「埼玉 60 山記念登山」の実施
6/7 又は 5~6 月内に清掃登山を実施し、レポート提出。
山頂での「記念旗」と記念写真の撮影。
以上で、総会議案は終了。熊谷議長の解任。

その他

①「第 9 回田中名誉会長賞」の授与。
今年は、「埼玉岳連貢献 24 年。特にフリークライミングへの貢献」に対し森下健七郎氏(前埼玉県山岳連盟会長)と、「埼玉におけるアルパインクライミングの推進」に対し「埼玉クライマーズミーティング(代表:岡田修氏、稲葉龍太郎氏)」が受賞。金一封(各 5 万円)が贈られた。また、田中名誉会長より、来年第 10 回を迎えるので次の 10 年間の表彰が確実にできるように基金として積み立てることを約束される。

②「70 国体関東ブロック大会」について

閉会の言葉: 村岡副会長 16 時 45 分総会終了
(文責:加藤事務局長)



左側・深谷山岳会・島田会長(岡田氏代理)、田中名誉会長の右側森下前会長の 2 名が受賞。

評議員総会出席者

【敬称略】

◆評議員

- | | |
|-----------------|----------|
| 1. 川口市登山同好会 | : 相澤 重夫 |
| 2. UD・A・C | : 岩武 成秋 |
| 3. 浦和山岳会 | : 田中 文男 |
| 4. あゆむ山の会 | : 佐藤 求 |
| 5. 遠峰山岳会 | : 天野 賢一 |
| 6. 大宮山岳会 | : 塩谷 壽子 |
| 7. 大宮アルパインクラブ | : 石倉 昭一 |
| 8. JR 大宮山の会 | : 吉田 秀夫 |
| 9. 深谷山岳会 | : 島田 富男 |
| 10. 熊谷アルパインクラブ | : 小高 英雄 |
| 11. 壁稜山岳会 | : ハツ田 政男 |
| 12. 熊谷山岳会 | : 長谷川 茂 |
| 13. エコー山の会 | : 平塚 久米男 |
| 14. アルパインクラブ・とだ | : 岩崎 繁夫 |
| 15. 蓮田山岳会 | : 熊谷 潔 |
| 16. ボルチ | : 矢萩 実 |
| 17. 小鹿野山岳会 | : 柳原 政一 |
| 18. MAS | : 森下 健七郎 |
| 19. 無名山塾 | : 金澤 和則 |
| 20. 大宮岳稜会 | : 石黒 明 |
| 21. 彩・岳悠会 | : 笠原 数浩 |
| 22. グループ・ド・アミ | : 恵 秀彦 |

◆代理人

- | | |
|--------------------|----------|
| 1. 浦和西岳友会 | : 渋谷 直克 |
| 2. 東部登高会 | : 門出 郡平 |
| 3. 加須スポーツクライミングクラブ | : 道浦 陽司 |
| 4. 加須クライミングクラブ・ビナ | : 安立 昌代 |
| 5. 川越山の会・五十雀 | : 岩井田 正昭 |
| 6. 熊谷山旅会 | : 皆川 京子 |
| 7. アルパインクラブ山遊人 | : 横内 鉄郎 |

◆委任

- | | |
|------------------|--|
| 1. さいたま市役所山岳部アルパ | |
| 2. 桶川山の会 | |
| 3. エルミネ | |
| 4. 本庄山の会 | |
| 5. 毛呂山山岳会 | |
| 6. 山狂舎 | |
| 7. TMGC | |
| 8. 山学同人 比企 | |

【会計監査】

2015 年 4 月 12 日(日)

11 時 00 分より会計監査を実施

監事: 佐藤 求, 岩武 成秋

会計担当: 加藤 富之

選手強化担当: 小茂田 利孝, 内海 信

平成 27 年度 4 月第 1 回理事会報告

2015 年 4 月 12 日(日) 北本市中央公民館

【協議事項】

- 1 平成 27 年度 評議員総会の議長について
今年度はⅢブロックから蓮田山岳会熊谷会長に。
- 2 田中名誉会長賞について
候補 3 件の内、2 件を選定
①前県岳連会長・森下健七郎氏
②埼玉クライマーズミーティング
(代表：岡田修氏、稲葉龍太郎氏)を推薦。
- 3 県岳連負担金について
負担金調整は 27 年度の検討課題とする。
- 4 慶弔規程について
規程の見直しは 27 年度の検討課題とする。

【理事会出席者】

- | | |
|--------------------|----------|
| 1 川口市登山同好会 | : 柴崎 英保 |
| 2 UD・A・C | : 山口 新二 |
| 3 浦和山岳会 | : 田中 文男 |
| 4 浦和西岳友会 | : 渋谷 直克 |
| 5 あゆむ山の会 | : 野村 善弥 |
| 6 遠峰山岳会 | : 天野 賢一 |
| 7 大宮山岳会 | : 塩谷 壽子 |
| 8 大宮アルパ インクラブ | : 石倉 昭一 |
| 9 JR 大宮山の会 | : 吉田 秀夫 |
| 10 深谷山岳会 | : 加藤 富之 |
| 11 熊谷アルパハイキングクラブ | : 小高 英雄 |
| 12 壁稜山岳会 | : 石井 茂 |
| 13 熊谷山岳会 | : 長谷川 茂 |
| 14 東部登高会 | : 門出 郡平 |
| 15 エコー山の会 | : 岡 康行 |
| 16 アルパ インクラブ・とだ | : 岩崎 繁夫 |
| 17 高体連登山専門部 | : 宇津木 秀二 |
| 18 高体連登山専門部 | : 野村 匡 |
| 19 高体連登山専門部 | : 小茂田 利孝 |
| 20 高体連登山専門部 | : 内海 信 |
| 21 加須スポーツクライミングクラブ | : 道浦 陽司 |
| 22 B7(ホルチ) | : 矢萩 実 |
| 23 加須クライミングクラブ・ヒナ | : 土屋 正昭 |
| 24 小鹿野山岳会 | : 柳原 政一 |
| 25 無名山塾 | : 鈴木 百合子 |
| 26 大宮岳稜会 | : 田中 正行 |
| 27 川越山の会・五十雀 | : 岩井田 正昭 |
| 28 熊谷山旅会 | : 皆川 京子 |
| 29 彩・岳悠会 | : 笠原 数浩 |
| 30 アルパ インクラブ 山遊人 | : 横内 鉄郎 |
| 31 グループ・ト・アミ | : 瀬藤 武 |
| 32 委嘱理事 | : 村岡 正己 |
| 33 蓮田山岳会 | : 岡野 敏 |

平成 27 年 3 月 理事会報告

3 月 11 日(水)北本市中央公民館 第 3 研修室

0 出席

石倉会長、相澤副会長、村岡副会長(企画)、加藤副会長(事務局)、天野理事長、瀬藤副理事長(遭対)、宇津木副理事長、内海(強化)、鈴木(海外)、岩崎(自然)、岩井田(広報)、長谷川(個人)、塩谷事務局、柴崎(川口)、山口(UDAC)、堀江(桜草)、小高(アルパ)、石井(壁稜)、岩本(エコー)、小茂田(高体連)、田中(岳稜)、柳原(小鹿野)、道浦(加須)、笠原(彩岳)、岡野(蓮田)、仙波(槻岳)、横内(山遊)計 27 名

1 開会挨拶 (相澤副会長)

2 会長挨拶 (石倉会長)

3 報告

- ①1/17 日山協新春懇談会 埼玉岳連：田中名誉会長、森下前会長、柳原参与他 7 名参加 計 150 名参加
- ②1/17-18 積雪期登山講習会・指導員研修会
一般 14, 上級 5, 指導員 12, 研修 1, 講師 8, 計 40 名参加(那須)
- ③1/20 70 国体関東ブロック大会実行委員会
- ④1/24 都岳連「2015 年新春の集い」
田中・石倉会長 計 80 名
- ⑤1/24-25 日山協「競技部ブロック別研修会」
- ⑥1/18・2/1 彩の国プラチキッズ・40 名参加
- ⑦2/ 1 第 3 回参与会 参与 8 名、役員 7 名参加
- ⑧2/ 1 新春懇談会 計 名
- ⑨2/ 4 埼玉県カトラトレイル実施検討について
- ⑩2/ 6 旧三峯分校使用契約について
- ⑪2/12 70 国体関東ブロック大会打ち合わせ会
- ⑫2/15 ⑩2/加須)日山協 代表者会議
- ⑬2/21-22 平成 26 年度関東地区山岳連盟総会
石倉会長、村岡副会長、相澤副会長、天野理事長
- ⑭2/21-22 第 10 回ボルダリング・ジャパンカップ (深谷)
- ⑮2/21-22 緊急ヒバーク訓練と耐寒経験講習会 29 名
- ⑯2/28-3/1 緊急避難講習会 計 23 人参加 (谷川岳)

4 協議

- (1) カレンダーの販売結果について
- (2) 創立 60 周年記念事業・実行委員会について
 - ① 記念式典・祝賀会、②講演会、③記念誌(DVD)
 - ④ 記念山行など事業について
- (3) 70 国体関東ブロック・埼玉大会について
 - ① 2/12 打ち合わせ会
 - ② 2/21 関東地区岳連総会について
 - ③ 審判員会議 5/16(上)9:00~18:00 の計画、審判員・総務員の推薦について
- (4) 平成 27 年度「4/12・評議員総会」に向けて
各専門委員会の事業報告と決算報告・27 年度事

業計画(案)と予算案提示について

① 60 周年記念事業の予算について

② 関東ブロック大会開催の為の特別予算について

(5) 田中名誉会長賞について

(6) 遭難対策委員会規約について

5 その他

①3/5 単会直接加盟の申請

山岳同人「グループ・ド・アミ」(代表者:恵 秀彦)承認

②3/11 県岳連脱退「槻岳友会」(会長:大平征徳)

③埼玉県カントリートレイル実施検討会について 村岡 (企画)

④3/1 蔵山岳連盟の講演会(野口いずみ)

田中名誉会長・天野理事長:参加

⑤名誉顧問・浅見豊氏・叙勲の推薦について

⑥某ハイキングクラブから加盟の打診について

6 各部からの報告等

①指導委員会

●平成 26 年度指導員養成講習会 那須

●2/14-15 平成 26 年度氷雪技術に関する指導員の教育と研修及び主任検定員養成講習会について

※主任検定員に鈴木海外委員長が参加 大山

●2/28-3/1 緊急避難講習会 計 23 人参加 谷川岳

○4/25-26 平成 27 年度氷雪技術に関する指導員の教育と研修及び主任検定員養成講習会について

富士山・吉田大沢五合目周辺及び佐藤小屋

②競技委員会

●1/24-25 競技部ブロック研修会(関ブロックの研修会他)

加須市民体育館・第一ホテル

●2/21-22 ボルダリング「ジャパンカップ」(深谷 CV)

○4/ 10:30~16:00 日山協競技委員総会

③選手強化委員会

●1/18, 2/1 彩の国プラチキス・競技団体体験教室
(ロッククライム川越)

●2/21-22 ボルダリング「ジャパンカップ」
(深谷クライミング「ヴァイレッジ」)

3/28-29 日本ユース選手権 2015

④遭難対策委員会

●1/23-25 日山協 平成 26 年度山岳レスキュー講習会

⑤自然保護委員会

●2/6 旧三峯分校使用契約について

●2/21-22 緊急ビバーク訓練と耐寒経験講習会

○3/25-26 旧三峯分校「岳人の家」閉所式

○4/5 平成 27 年度自然保護委員総会

戸田市新曽南庁舎

⑥海外登山委員会

▼平出和也氏講演会…都合により変更、「栗秋正寿」
(冬季アサカ山脈登山の第一人者) 検討調整中。

●3/7-8 日山協第 53 回海外登山技術研究会
天野・鳥・鈴木・加藤参加 オレセ

○4/4 平成 27 年度海外登山委員 堂平山

⑦ジュニア委員会

●2/14 平成 26 年度ジュニア・普及情報交換会

※石倉会長参加 山溪、コシ他 30 名 オレセ

⑧広報委員会

●第 50 号発行 16p 50 号記念特大号

○5/31 第 51 号発行予定

⑨企画委員会

●2/4 埼玉県カントリートレイル実施検討、トレイル検討委員会

○60 周年企画として、「クラブデー・タペス」の作成 03/

埼玉県カントリートレイル実施検討(トレイル検討委員会)

⑩事務局

●彩岳悠会:梅津氏の葬儀について

●たらっぺ山の会代表:森氏の葬儀について

○「第 28 回県体・大会実施予定調査」について

○「平成 27 年度行事予定表」について

○平成 26 年度埼玉県体育賞

功労賞:小茂田利孝理事(遠峰山岳会)

優秀選手賞:尾上彩、波田悠貴、坂井絢音

○3/17(火)15 時~ 県体協第 2 回加盟団体協議会
相澤副会長参加

○4/29 第 29 回二子山開山式について

○「阿寺の岩場の安全祈願祭」について

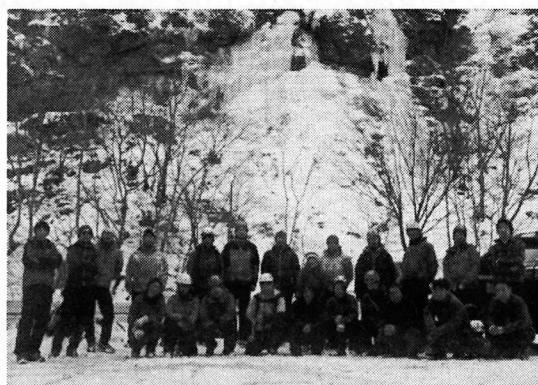
6 閉会挨拶(村岡副会長)

第 7 回埼玉クライマーズミーティング

(SCM) 2015 In 秩父 報告

■日 時:平成 27 年 2 月 7 日(土)~2 月 8 日(日)

■場 所:埼玉県 秩父 中津川流域



■行動概要

2/7(土) 19 時「大滝温泉」(道の駅)集合。9 時半乗合車で中津川のアイスへ。4 本のトップロープを掛けバンバン登る。久しぶりの人と久しぶりに話す。16 時に撤収し、「つちうちキャンプ場」へ。管理棟内で早速宴会。暖炉があり快適で楽しい時を過ごす。そのまま 15 人雑魚寝。

2/8(日) 当日組を加え、大滝温泉経由で再び同所へ。前日と同じように登る。昼前から雪が降ってきたが、

そのまま続行。昼過ぎには止んで、16 時前に無事終了となった。

■所感

参加者の皆さんお疲れ様でした。前々からあった話でしたが、「埼玉なんだから埼玉で開催しよう」を実行しました。氷の状態も良く快適なアイスクライミングを楽しむ事が出来ました。過去一番の 26 名の参加者が集まり、宿泊も 15 名と大盛況でした。ただ方向性がばやけてきた感がありました。今後は「登攀を实践する者の集まり」に特化していかないと、ただの交流会になってしまい、県岳連ではなく有志でやる意味がなくなってしまうそうです。最後に地元在住の石橋氏(たらっぺ山の会)の多大なご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

■参加者 26 名(順不同・敬称略)

浦和溪稜山岳会:内海 正人
遠峰山岳会:天野 賢一、稲葉龍太郎、藤井 大輔、
小茂田利孝、吉田 雅樹、東家友也、
大宮アルパ インクラブ:藤森 久美、鈴木 一美、清水 良昭、
中川 一芳、野田 幸枝、
たらっぺ山の会:石橋 修、青山 洋一、篠原 剛、
黒沢 侑輝、
深谷山岳会:加藤 富之、岡田 修、荒川 修一、
政 健太郎、関 真由美、山田真也、
無名山塾:鈴木百合子、
アルパ インクラブ 山遊人:横内 鉄郎、片田多加世、
小沢 直美
記:(幹事)深谷山岳会 岡田 修

平成 26 年度関東地区山岳連盟総会 報告

期 日:平成 27 年 2 月 21 日(土)~22 日(日)

会 場:宇都宮市ロマンチック村 ウィラ・デ・アグリ

参加者:39 名:県内から石倉会長、村岡副会長、
相澤副会長、天野理事長(4 名参加)



日本山岳協会神崎会長の挨拶

1. 開会

- (1) 関東地区山岳連盟会長挨拶
- (2) 来賓挨拶

2. 議事

＜報告事項＞

- (1) 第 69 回国体・関東ブロック実施結果(栃木)
- (2) 第 1 回関東地区小中学生選抜クライミング選手権大会(千葉)

＜協議事項＞

- (1) 第 70 回国体・関東ブロック大会開催実施要項(埼玉)
全種別 1 日目ボルダリング、2 日目リフトで実施する。
今後の審判員数の削減・有効活用を検討。
- (2) 第 70 回国体関東ブロック大会・埼玉大会における総務員の定数削減について(埼玉)
総務員及び審判員の数について削減を提案。
- (3) 第 2 回関東地区小中学生選抜クライミング選手権大会(茨城)
期日:平成 27 年 11 月 22 日(日)
会場:鉾田市総合公園体育館、種目:リフト競技
- (4) 関東地区自然保護委員会交流会
期日:平成 27 年 10 月 17 日(土)~18 日(日)予定
場所:神峰・高鈴山系(日立市)
- (5) 日山協関東ブロック理事の推薦について
(H27.28 年度理事:日山協依頼事項)
- (6) 「山の日」制定に伴う、関東地区岳連について。
一案として山の日に集中登山を今年は群馬担当。場所は谷川岳。日程は担当県が決める。
- (7) 関東地区岳連総会のあり方(各専門委員会委員長の参加)(群馬)

＜その他＞

- (1) クライミング施設の状況について情報交換
各県の施設数など(概算)を報告
- (2) 第 70 回国体関東ブロック大会スタート順抽選(埼玉)
山岳競技 競技スタート順
成年女子:リフト / 1・ボルダリング / 2
少年男子:リフト / 6・ボルダリング / 3
少年女子:リフト / 6・ボルダリング / 1
昨年あたりから総会の開催県がくじなどを準備してくれています。必然的に来年は埼玉がクジや掲示用の用紙などを準備することになります。
- (3) 関東地区山岳連盟会長印の引継ぎ
会計業務が終了していないということで会長印引継ぎは後日になりました。

3. その他

4. 閉会 (報告:天野賢一)

緊急ビバーク訓練&耐寒経験講習会 報告

自然保護委員長・岩崎繁夫

標高 975m に建つ三峰分校跡地の校舎「岳人の家」を使用して緊急ビバーク訓練と耐寒訓練を兼ねて三峰分校「岳人の家」の利用促進を計ると共に山岳遭難事故防止の一助として本計画を実施しました。

期 日：平成 27 年 2 月 21 日(土)~22 日(日)

場 所：三峰分校跡「岳人の家」

講 師：瀬藤武(遭対委員長)、計良寿彦(指導委員会)

参加者：22 名+(役員 7 名)

[参加者感想・要望など]

昨年 12 月、遭対委員会主催上尾での研修会で瀬藤委員長曰く『研修会への要望アンケートで今後のマイナーチェンジも模索中』と云われてましたが、上級の雪上・雪洞研修会と同様に第二弾を遭対委員会主管で開催して頂きたいと思います。また、事業として継続を希望します。こと安全登山の啓蒙に有意義で、広く多くの方の受講頂ければと思います。

「川口登山同好会:増田 修 記」

事前の準備が良く出来ていたので充実した訓練が出来ました。食事の差し入れも豪華でした。短い時間でしたが密度の濃い各種体験が出来たことを、3 人ともに感謝しています。

「エコー山の会:岩本 吉男 記」

三峰分校(岳人の家)は昨年の両神山自然観察会に参加して 2 度目になり、今回は自宅から車で日高を經由 299 号線から 140 号線に入り 2 時間半程度で三峰「岳人の家」に着いた、前は秩父鉄道三峰口から御岳山に登って大滝温泉經由三峰分校に行ったことで、秩父は車でも電車でも比較的便利な地域であることを実感した思いがあります。定年を期に山行を開始しようと昨年、ふじみ野市の登山教室に参加した事で埼玉岳連の指導者の紹介もあり冬山遭難防止研修、那須の雪上訓練やレスキュー講習会にも参加することができました。感じたことは、まずは装備が古いため、まずはザック(45 リットル+10 リットル)とザイルワークの講習に必要なものを備え、講習会に臨みましたが雪上訓練では指が凍るような苦い経験もしました。今回、ツェルトを使用した緊急時の各種設営方法を学ぶとともに 35 年ぶりとなる雪上に張ったツェルトで一晩過ごした事やアイゼン歩行など大変有意義なものでした。

またロープワークの講習も何度か経験することにより習得できるようになりました。残念ながら雪洞訓練は次回にまわすことにしますが、今後も機会を捉え各種講習会に参加することにより登山技術の習得と安全な登山と自然保護委員としての活動をしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

「個人会員:大河原 裕雄 記」

三峰「岳人の家」を使用して緊急ビバーク講習会と耐寒訓練会に参加してきました。私は 63 歳から山登りを始めて 6 年になります。山登りとしては東部登高会の会山行と県岳連・自然保護委員会に所属し、中年になってから山登りに目覚め、楽しんでおります。

安全登山については会山行での先輩方のアドバイスを受け県岳連の種々の講習会にも時々参加してきました。私と同じ様に中年から始めた方々が、指導員を目指す講習は難しいとの話があり同感だと思いました。自然保護委員会主管でビバークと耐寒訓練を行うと言うので、日頃山行には常に携帯していたツェルトの使用について、遭難対策の瀬藤委員長と指導員の計良氏が講師として加わっていただき、実際に使用方法などを体験することが出来ました。

21 日午前 10 時 30 分開会式が行われ、UDAC の山口氏からフォストビバークとフォキャストビバークの概説、野宿、ビバークの仕方について資料をいただき講演を受ける。

昼食後、三峰分校の積雪のないグラウンドの一部で、4 班に分かれ簡易テントとしての設営場所や設営方法を教わり、緊急ビバーク時の使用方法を行いました。

私達の班では蓮田の熊谷さんが講師補佐としてツェルトの使用で山行を行った経験などを聞くが出来ました。その後は講堂に入り、テープスリングとロープワークの講習です。私と同じ様に中年から登山を始めた方も何人かおられ、午後 5 時 30 分までビッシリ 勉強し、充実していました。食事と親睦会が行われ、自己紹介しながら交流をはかること出来ました。

暗くなる前、耐寒訓練としてテントやツェルトを校庭の 20 センチ程積雪した場所に設営しておいた人達露営をしましたが、私は雪の上でレスキューシートとツェルトを頭からかぶり、1 時間程でしたが耐寒訓練をしました。初めてのツェルト使用は寒さが防げることを実感できました。

しかし、一人で膝をかかえて一晩は孤独で大変だけれど命には代えられない。まだ体感したことのない人に一度は訓練にでも参加される事をお勧めします。22 日 霧藻が峰まで雪上歩行と軽アイゼンを使う訓練、初めてアイゼンを装着する方もいましたが、私は岳人の家の後片付けのために残り、皆さんが下山を開始した連絡をもらい妙法ヶ岳分岐まで行き合流し、三峰神社のお風呂に入り岳人の家まで戻り解散となりました。

講師のお二人、補佐の四名、岩崎委員長有難うございました。また、帰りの車に乗せて頂いた熊谷さん有難うございました。 【東部登高会: 中西博記】

※編集都合により下記の方の報告は掲載省略させて頂きました。

堀本卓、山村淳一、尾市佐保子、八木真理子。敬称略
文責/広報 岩井田

ボルトリングジャパンカップ 2015 報告

2015.02.25 村岡 正己

主 催：(公財)日本山岳協会

協 賛：キョーリン製薬グループ/マムトジャパン、好日山荘。

2 月 21 日、22 日、深谷クライミングガレージにて第 10 回ボルトリングジャパンカップが行われ、埼玉山岳連盟が主管、深谷山岳会が協力という立場で参加。

予選：男子 104 名、女子 46 名、いずれも課題 5 つ、AB2 グループに分かれて実施。準決勝：女子で大波乱が起きる。トップ選手を想定しての設定が難しすぎて誰も完登できず。逆に中堅クラスが完登した課題をワールドクラスが登れず。結果、野口、野中のワールドクラスが敗退。

決勝：大型のシェイプを使った世界レベルの課題で、男子は杉本怜が優勝。女子は田嶋あいが 3 完登で優勝。全体的に、今回の課題は、身長が大きいと体の振られ方が大きくなり小柄な選手に有利でだったと感じる。

男子女子 1 杉本怜(東京都) 1 田嶋あいか(三重県)2 渡部桂太(三重県)2 戸田萌希(山梨県)3 檜崎智亜(栃木県)3 尾上彩(埼玉県)2。

運営面 今回のボルトリングカップは、埼玉の深谷クライミングガレージで開催するとの連絡があったのは、今年の 12 月末の高校選手権の時。1 月に日本山岳協会から、主管の依頼がきたが詳細はなかなか連絡なかった。競技 2 週間前に、加藤氏が会場に出向き情報収集。

競技自体は、課題の素晴らしさ、選手のパフォーマンス、映像のストリーミングなど盛り上がり成功に終わった感がありますが、運営上では課題の多いものでした。

課題というより問題といったほうが合っている。会場が狭く観客が見にくい。また実施要項はあるが、その他の部分が不明。運営マニュアル、予算計画、会場レイアウト、動線、サイン関係、安全マニュアル、消防届、メディア対応、式典、施設契約関連、備品関連が不明確。急遽現地打合せを設けて大会に入ったが、運営上はお粗末な大会になった。

会場にメディア関係と競技関係が入り乱れる状況。観客は料金を取っての観戦。見えにくい状況は非常に不快な部分もあったと感じている。またスポンサーからも一部疑問を感じている様子でした。

組織として動いていないことが最大の要因。

メディア関係：

フジスポーツニュース、TBSnews23、NHKworld スポーツニュース、TBS、朝日報道ステーション、S1・チケット販売数：308 枚・

テストジャッジ テータの端末入力を決勝でテスト今後本格化していくなど。

【第 5 回日本山岳遺産サミット】報告 敬称略

2015 年 2 月 28 日 神田 (インプレスグループ セミナールーム)



認定証を受けた支援団体の皆さん 右から(山と溪谷社/川崎副社長、勤労山/西本会長、日山協/田中顧問)

節目となる第 5 回目の「日本山岳遺産サミット」が神田「インプレスグループ・セミナールーム」で開催。初回は 2010 年 11 月 3 日「文化の日」甲府にて開催、埼玉岳連から広報担当が参加。5 年の間に 16 の支援団体が助成を受けて種々な事業(自然保護、啓蒙、教育活動、登山道整備、環境保全等)を推進、大きな成果を上げられました。今回は 2010 年以降の認定を受けられた内から 10 団体の代表者が出席し、認定後の活動報告、今後の課題などをそれぞれの立場から発表。

県岳連からはアドバイザー・田中文男(日山協顧問(県岳連名誉会長)他に加藤副会長、大山理事、岩井田広報が参加 終了後に懇親会、その後の活動の情報交換を行った。

※詳細は JMA「登山月報」553 号 3p に詳しい。

【回数/年度/開催場所/講演者名/認定地】

第 1 回 2010 年：甲 府 講演「戸高 雅史氏」

認定：楡形山、小金沢ソバの森、乙女高原(山梨県)
/石槌山(愛媛県)

第 2 回 2011 年：東銀座 講演「三浦雄一郎・豪太氏」

認定：早池峰山(岩手県)/五家荘エリア(熊本県)

第 3 回 2012 年：恵比寿 講演「野口 健氏」

認定：夕張岳(北海道)/七時雨山(岩手県)
/臥龍山(広島県)

第 4 回 2013 年：東銀座 講演「田部井淳子氏」

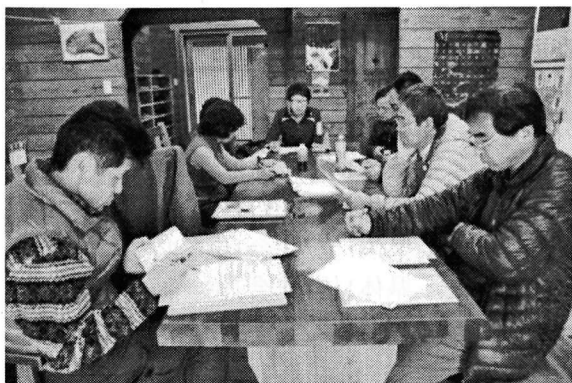
認定：アポイ岳(北海道)/金華山(宮城県)
/船窪山(長野県-富山県)/大台ヶ原大杉谷(三重県)

第 5 回 2014 年：神 田 講演「小泉 武栄氏」

認定：吾妻山(福島県)/鍬/峰、徳本峠(長野県)

平成 27 年度海外登山委員会 総会報告

2015 年 4 月 4 日 (土) 堂平山天文台



堂平山・集会室に於いて海外登山委員会 総会開催

議長：鈴木 直樹、議事録作成 風間 進

参加者：鈴木 百合子、鈴木 直樹、風間 進
天野 賢一、岩井田 正昭、大山 光一、
加藤 富之、塩谷 壽子、寺井 繁美

議 事：15:00～20:00

平成 26 年度 事業報告、決算報告 承認/可決

平成 27 年度 事業計画、日程等確認 承認/可決
その他：

①海外登山計画 4/13～6/4 ローツェ～エベレスト

連続登山 大山光一

②海外登山講習会・6 月中事業は調整中

③役員改選今年度はなし、留任。

④委員会主催の海外登山計画について
実施時期、山域選定、登山期間等の検討を進め
ることに意見集約した。

プロジェクト映像にて記録の再放映を行った。

文責/事務局・風間 進

懇親会：20:00～

会場を集会室から快適な屋外の大型パオに移動
し、深更まで 60 周年海外登山などについて意見
交換をした。(外に出ると寒空の中、皆既月食
が一部見られた) この項 広報/岩井田

2015 国際クライムズミート

世界の多くの国々からクライマーを迎え交流を図る
目的で下記のように開催されます。

日 時： 2015/9/27～10/3

場 所： カリフォルニア州 ジョシュア・ツリー国立公園

締 切： 申込み国内 6 月 20 日まで

費用、含まれるサービス、参加条件等の詳細について
は近日中に、日山協・海外登山委員会からアナウンス
されます。

埼玉岳連・海外登山委員会

平成 26 年度埼玉県体育賞授賞式

埼玉県岳連初の 4 名同時受賞！(敬称略)

体育功労賞 小茂田 利孝

優秀選手賞 尾上 彩

優秀選手賞 波田 悠貴

優秀選手賞 坂井 絢音

26 年度体育功労賞を受章の
小茂田利孝・元選手強化委員長平成 27 年 3 月 14 日(土)、埼玉県体育賞授与式がさ
いたま共済会館において行なわれました。2014 年度に優秀な成績を収めた選手、各競技団体
や関係者で功労のあった者が表彰され、山岳連盟か
らは優秀選手賞として、国際大会優勝者の尾上彩選
手(世界ユースクライミング選手権大会/女子ジュニア)、全国大会
優勝者の波田悠貴選手(全国高等学校選抜クライミング選
手権大会/男子)と坂井絢音選手(全国高等学校選抜クラ
イミング選手権大会/女子)、以上 3 名が表彰されました。また競技団体の体育功労賞は、長年にわたる選手強
化の功績により小茂田利孝氏(元選手強化委員長)に
贈られました。小茂田氏は埼玉国体前より選手の育
成・強化に携わり、大会引率や細かなケアに至るまで親
身になって選手に寄り添ってこられました。また県
内各大会においてはスタッフとしても従事され、現在の
県岳連競技・選手強化にとってなくてはならない方
としてご活躍されています。体育功労賞受賞、誠に
おめでとうございます。(理事長 天野 賢一)

授賞式挨拶の上田清司 県知事

1月～5月 県内選手別 8位以内**ボルダリングジャパンカップ 2015**

2015/2/21-22 深谷市 深谷クライミングビレッジ

男子	8位 波田 悠貴	29位 風間 大晴,	31位 是永 敬一郎,
		31位 西川 和弘,	48位 佐藤 竜馬,
		59位 加藤 亮央,	101位 鈴木 祥史
女子	3位 尾上 彩		
	5位 加藤 智子		
	21位 曾我 綾乃,	23位 坂井 絢音,	
	25位 小川 絵梨花,	25位 林 彰子	

リートクライミング・日本ユース選手権2015

2015/3/28-29 印西市 松山下公園総合体育館

ジュニア男子	2位 波田 悠貴		
	8位 渡邊 海人		
	9位 是永 敬一郎		
ユースA男子	6位 本間 大晴		
	11位 加藤 悠生		
ユースA女子	8位 金子 桃華		
ユースB男子	17位 中村 颯人,	19位 奥墨 鴻太	
	21位 三木 流砂,	31位 木村 大夢	
ユースB女子	1位 曾我 綾乃		
	13位 小林 由奈,	19位 松井 結	
アンダーユースB男子	2位 鶴 隼斗		
アンダーユースB女子	17位 須見 真絢		

第1回全日本マスタースクライミング選手権大会2015

2015/5/5 印西市 松山下公園総合体育館

男子リート 12位 森下健七郎

全日本クライミングユース選手権

2015/5/16-17 倉吉市 県立倉吉体育文化会館

ジュニア男子	3位 渡邊 海人		
	4位 是永 敬一郎		
	5位 波田 悠貴		
ジュニア女子	7位 坂井 絢音		
ユースA男子	10位 加藤 悠生,	16位 本間 大晴	
ユースA女子	3位 金子 桃華		
ユースB男子	1位 中村 颯人,		
	21位 木村 大夢,	25位 三木 流砂,	
	26位 奥墨 鴻太		
ユースB女子	4位 曾我 綾乃		
ユースC男子	6位 鶴 隼斗		

速 報**第16回KAZO コバトカップ 兼県県予選会**

2015/5/24 加須市民体育館

キッズ	: 県体1位/総合8位 牧田 岳
ビギナー	: 県体1位/総合8位 野部 七海
ミドル	: 県体1位/総合3位 三木 流砂

スーパーミドル	: 県体1位/総合3位 木村 大夢
エキスパート	: 県体1位/総合1位 波田 悠貴
	: 県体2位/総合2位 是永 敬一郎

第8回コバトボルダリングカップ 2015 兼県県予選会

2015/5/31 川越ロッククラブ

キッズ	: 県体1位/総合6位 猪鼻 碧人
ミドル	: 県体1位/総合2位 三木 流砂
スーパーミドル	: 県体1位/総合1位 木村 大夢
女子	: 県体1位/総合1位 坂井 絢音
エキスパート	: 県体1位/総合1位 波田 悠貴
	: 県体2位/総合3位 是永 敬一郎

東吾野・アルパイン入門道場 オープン

東吾野「大野宅」右側に5月17日にオープン
製材所倉庫を改装し、高さは概ね4~5mの練習壁な
どの《アルパイン入門道場》を開きました。

施設使用料はワコイン500円、詳細は現地のパンフレット参照ください。ボルダー壁(可変),アイスクライミング壁,クランク練習用ライン,フリー用壁,レスキュー用懸垂壁,落下制動確保練習用ウェイト(60kg)。道具は無償で使用可。早速「森下顧問」がダブルアックス,アイゼン,ヘルメットの重装備で半割した丸太の垂壁を試登。(左下の写真)



「阿寺の岩場」のサブゲレンデとして活用出来そうです。
詳細は大野文雄氏へ直接携帯へ 090-8589-4300
広報/岩井田

【事務局便り】

【お詫びと訂正】

前号・埼玉岳連報50号2p《懇談会参加者名》に記載もれがありました、正しくは深谷山岳会「武井正男 参与」は懇談会に出席されております。訂正してお詫び申し上げます。

広報委員長 岩井田正昭

「安全に山に登る」講演会

講師：埼玉県警山岳救助隊・飯田雅彦副隊長
期 日：2015年6月13日(土)
時 間：13時10分～16時30分(受付13時～)
場 所：大宮ソニックシティ9階906会議室
主 催：さいたま市山岳連盟
定 員：100名
参加費：無 料
申込方法：さいたま市山岳連盟 石倉 昭一 迄
携帯電話 090-5798-9632

PCメールアドレス si-ageo@topaz.ocn.ne.jp
※埼玉岳連 ○○山岳会と氏名を連絡ください

第 34 回海外登山遭難対策研究会

海外登山における遭難対策とは？
海外登山を志す登山者に向けた最新情報

期 日：2015 年 6 月 14 日(日)
会 場：代々木リゾーツ・センター センター棟306 号室
開 演：8:45(開場8:30) 参加費：2,160 円
参加費：10代・学生540円 20～30代1,080 円
申 込 み：申込み不要

【講 演】

野口いづみ氏 高所順応と高所障害対処法
と新しい知見
team Monsoon (根本秀嗣、根津貴央、飯坂大の各氏)
グレートヒマラヤトレイル踏査プロジェクト
古野 淳 氏 ヒマラヤ・カラコルムの山岳救助の
最新事情と山岳保険

主 催：お問い合わせ：(公社) 日本山岳協会
[事務局] 〒150-805 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸
記念体育館内 TEL:03-3481-2396/FAX:03-3481-2395
E メール：info@jma-sangaku.or.jp

【新規加盟】3/11加盟 山岳同人「グループ・ド・アミ」
代表者 恵 秀彦、理事(遭難対策委員長) 瀬藤 武、
総務 風間 進 他5名。

役員改選のご案内

平成27年4月吉日

平成27年度【茨城県山岳連盟】 敬称略

会 長	二階堂 章信	重任・国体(総括)
副 会 長	田所 洋一	重任・国体選手強化 (総括・会長代行)
副 会 長	小森 栄治	重任・国体選手強化
副 会 長	西内 博	重任・日山協対応
副 会 長	海老沢 季雄	新任・総務
副 会 長	川口 仁志	新任・国体選手強化
理 事 長	椎名 正明	重任 海外登山委員長
副理事長	田上 正敏	重任・広報委員長
副理事長	木村 実	重任・競技部長
副理事長	山田 正巳	新任・事務局長
副理事長	厚谷 綱良	重任・国体選手強化
常任理事	中庭 稔	重任・指導委員長
常任理事	永井 伸幸	重任・遭難委員長
常任理事	堀之内 幸子	重任・選手強化委員長 (副 広島 裕士)
常任理事	長谷 美玲	新任・競技委員長
常任理事	中沢 隆一	重任・自然保護委員長
常任理事	一ノ瀬 正節	重任・茨城国体委員長 (副 黒沢 昌弘)

常任理事 菊池 義孝 重任・ジュニア担当
事務局(文書送付先)
〒311-0111

茨城県那珂市後台1757-3 山田正巳方

TEL& Fax 029-295-0422

E-mail: ibarakikengakuren@yahoo.co.jp

【脱 退】 3/11 槻(けやき)岳友会

このたび都介により貴連盟を本年度末をもって脱退することを決定し、ここにお届けいたします。昭和39年に加盟し現在まで無事に登山を続けられたことを慶びとするとともに長きにわたる貴連盟のご尽力ご指導のお蔭と感謝いたします。貴連盟の益々のご発展を祈念申し上げます。 会長・大平 征徳

【脱 退】 3/23 「山と自然を楽しむ会」

私ども「山と自然を楽しむ会」は、先日原会長の急死に伴い緊急役員会を開催して今後について話し合ったなか「埼玉県山岳連盟」につきましては会員数の減少と高齢化により役員派遣等が組織的に困難となったことから脱会することを決定しました。

長い間のご芳情に御礼申し上げますとともに、連盟の皆さまの一層のご発展を祈念申し上げます。

会長・山中一憲

【脱 退】 5/1 「奥武蔵ワダ-フォ-ゲル」

私ども奥武蔵ワダ-フォ-ゲルは、会員の減少と高齢化によりこのたび貴山岳連盟の理事会で申し上げた通り平成 27 年 3 月 31 日をもって脱会することを決定しここにお届けいたします。

平成 27 年 5 月 1 日

奥武蔵ワダ-フォ-ゲル 会長・新井 宏司

訃 報

「たらっぺ山の会」代表 森 治男氏が、2月10日永眠されました。享年55歳。

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

埼玉県山岳連盟 一同

【脱 退】 5/17 「たらっぺ山の会」

深谷市山岳連所属の「たらっぺ山の会」は平成 27 年 5 月 17 日に行われた第 39 回通常総会にて会の解散を決定しました。主な理由として組織運営上の困難・遭難救助体制の不備・現役会員の高齢化などが要因です。ここに「たらっぺ山の会」としての登山活動が終了したことを報告します。

県岳連の運営がスタートして慌ただしい時期では

ありますが、よろしくお取りはからい願います。

平成 27 年 5 月 19 日 たらっぺ山の会

代表代理 石橋 修

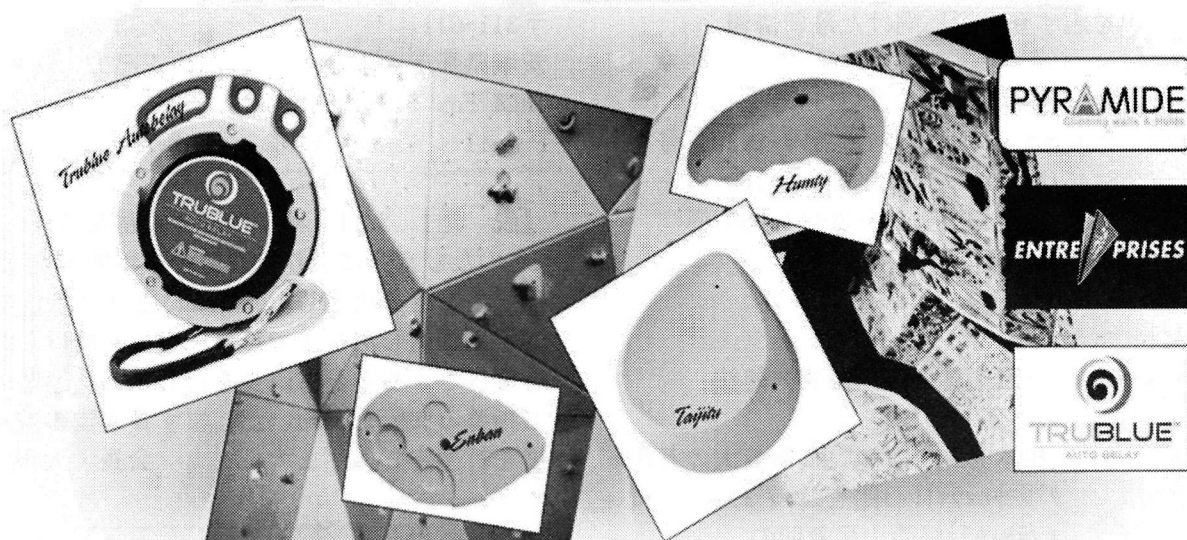
【編集後書】

『巻頭言』会長挨拶の様に、半年後の60周年式典に向けての各事業のほか、直近の70国体関東ブロック大会など多くの事業が山積し消化不良にもなりかねない。この週末は天覧山の遭対委員会主催の「レスキュー講習会」にスタッフ参加、終了後そのまま川越のボルダリング大会の準備にジム（ロックラフト川越）へ転進、翌日の大会に備える、大会当日は早朝から参加。先週は加須のリード競技大会が終わったばかりだがこのボルダリング大会の後は本来の仕事「51号：広報発行」の処理があり6月の一週目は『ドタ・モード』で何とか乗り切らねばと足が空回り。

* 閑話休題 *

一昨日(5/30)も関東地方に震度4~5の地震、その前には(5/29)の口永良部島の大噴火、御嶽山の噴火以来連動したように地震が増えている。箱根山の入山規制などもあり、足元が覚束ない、せめて歳のせいと言われぬように、確りと山道を歩かねばならない。

By. @miwaid



取り扱い製品

- ・クライミングウォール
ピラミッド、アントレプリーズ、当社オリジナル
- ・ホールド
アントレプリーズ、草ホールド、Wall Street
- ・オートベレイシステム
TRUBLUE

クライミングウォールの設計、施工と

ホールドなどの関連製品の販売をおこなう会社です。

ピラミッドジャパン株式会社

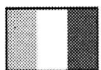
〒357-0062 埼玉県飯能市永田387-5

Tel: 042-980-5650 Fax: 042-971-6780

URL: <http://pyramide-japan.com/>

Mail: pj-info@pyramide-japan.com

ホールドのご用命は<http://hold-market.com/>へ



MADE IN ITALY

Dolomiti Val di Fiemme

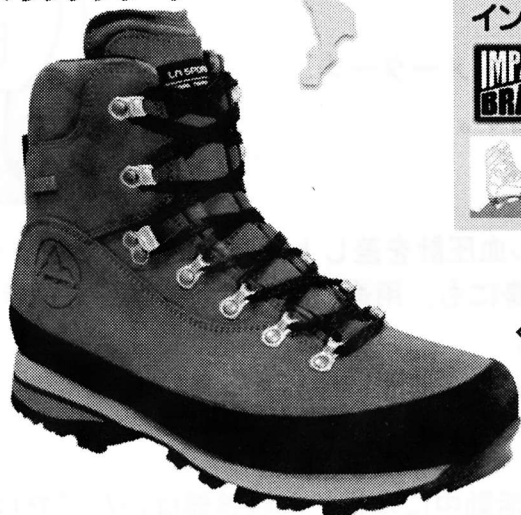


フルグレインヌバックレザーブーツ

本革 + 特許ソール

新装着!!

バージョンアップ

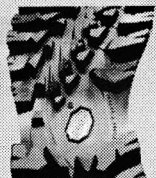
長期縦走向け
マウンテンブーツ

インパクトブレーキシステムソールを新たに装着!

従来のフラットソールからバージョンアップ!
ブロックごとに独立した角度が違う形状が
効果を発揮!

クッション効果により 疲労軽減

衝撃吸収力UP

上り・下り
グリップ力UP

高品質フルグレイン・ヌバックレザー-2.6mm

イタリアの高品質で堅牢なフルグレイン・ヌバックレザーを惜しみなく使い履き込む程に味が出る革本来の良さ。



V字カット アンクルパット

足首の保護と歩きやすさを両立。下りでもアキレス腱にかかる負担を軽減。



ラバーバンド

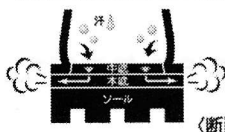
幅広のサイドラバーを全周させ、補強。ハードなロングトレイルにも対応。

バルディフィメ GORE-TEX IBS

サイズ 23cm~27.5cm
WT 約625g (1/2)

限定
モデル

税込 39,800円

中底には、天然皮革を使用。
靴内の汗を吸い込み外に
放出するためムレにくく快適。

〈断面図〉

アッパー 3mm厚防水フルグレイン
オイルドレザー
ソール ヒバラム(張り替え可能)
中本底 天然皮革



サイズ 23.5~27.5cm
WT 約560g (1/2足)

本場イタリア製 チロリアンシューズ

履くほどに味が深まる
天然皮革オイルドレザー使用モデル袋口構造で足全体を
しっかりと包み込みます。

シティ



モカの部分は、職人による手縫い仕上げ。

限定
モデル

税込 25,800円

山の“3種の神器”ザック・山靴・雨具は安心の専門店で!!

登山用品や
お得な情報満載!

WEB SHOPもご利用ください

はじめての
山登り
応援します!

～割引クーポン、おトクな情報をお届けします。～

メルマガ会員
募集中! 登録無料

http://www.nippin.co.jp

ニッピン

検索



ニッピンは、

秋葉原に登山用品専門の
お店を構え、半世紀以上。

facebook twitter

秋葉原 ニッピン

【営業時間】

AM11:00~PM7:00

(定休日/毎週火曜日)

※繁忙期は、無休

本店 〒101-0021
東京都千代田区外神田3-11-11

☎ 03(3253)1431

神田小川町店 〒101-0052
東京都千代田区神田小川町3-2

☎ 03(3233)4121

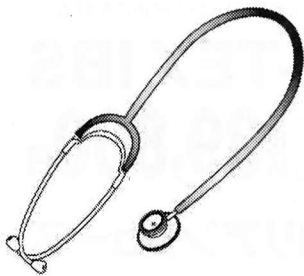


ALP K2®

間もなく本格的な夏の訪れです。大勢の山仲間との山行でも、あるいは単独行の山行でも、大切なのは健康管理です。あなたの動脈血の酸素量が今どの位なのか、脈拍数はどの位なのか、正確な機械で測定してみてください。医療機関等で使用されているパルスオキシメーターを、特価でご提供致します。ぜひご利用下さい。



季節の変わり目です。親しい方にデジタル血圧計を差し上げたいかがでしょう。お誕生日、結婚式、お中元、もちろんご自身にも。用途に応じて対応させていただきます。山行に持参できる小型タイプもございます。血圧は健康のバロメーターのひとつです。どうぞお問い合わせ下さい。



登山行動中や野外活動中に本格的な聴診器はいかがでしょう。樹の幹に聴診器を当ててみると、色々な音が聴こえてきます。葉の擦れる音、遠くの小川の音。虫の声、鳥の声。樹はまるでパラボラアンテナのように色々な音を集めます。ご家族のペットの心音を聴いてみるのもいいでしょう。人間とは違った鼓動に新しい発見があるでしょう。ぜひトライしてみてください。

埼玉県山岳連盟の活動を応援している田中産業株式会社は 1969 年の創立。世界 80 数カ国に製品を輸出しております。



- パルスオキシメーター
- 歩数計
- デジタル血圧計
- 聴診器
- その他医療器全般

ALP K2® 田中産業株式会社

本社

113-0033 東京都文京区本郷3-16-3

TEL 03-3814-7181 FAX 03-3814-7177

Eメール alpk2@joy.hi-ho.ne.jp

弊社はISO13485を
取得致しております